



## 2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月13日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク

上場取引所 東

コード番号 7614

URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大越 勤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 澄川 新一

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 2021年9月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期第2四半期の連結業績 (2021年2月1日～2021年7月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	13,989	△2.6	434	△29.3	520	△33.2	290	△17.8
2021年1月期第2四半期	14,364	△1.2	614	45.7	779	54.7	353	7.5

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 313百万円 (△7.7%) 2021年1月期第2四半期 339百万円 (18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	43.16	—
2021年1月期第2四半期	52.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期第2四半期	18,116	13,967	77.1	2,075.29
2021年1月期	17,793	13,815	77.6	2,052.76

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 13,967百万円 2021年1月期 13,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2022年1月期	—	0.00	—	—	—
2022年1月期 (予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年1月期の連結業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	4.1	1,170	△14.5	1,350	△18.2	650	△5.7	96.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期2Q	7,335,634株	2021年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	605,419株	2021年1月期	605,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期2Q	6,730,215株	2021年1月期2Q	6,738,170株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症問題が未だ収束には至らず、感染拡大の継続による緊急事態宣言が再度発出されるなど、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であることから、大部分の店舗での営業は継続されたものの、商業施設等の一部店舗の休業や営業時間の短縮など負の影響も発生し、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、物流費の増加等に加え、更に不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、昨年来より政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関わる様々な要請に応えるとともに、従業員の健康と安全管理の徹底を最優先したうえで、雇用を維持しお客様のニーズに応えるべく様々な施策の実行を継続しております。食肉等の小売業においては、対策本部において意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

外食業にあつては、2021年4月の三度目の緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。なお、上記休業や時短営業に伴う助成金や協力金の収入は補助金収入、損失は店舗休止等損失として計上しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高139億89百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は4億34百万円（同29.3%減）、経常利益は5億20百万円（同33.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は補助金収入2億70百万円、店舗休止等損失2億16百万円を計上し、2億90百万円（同17.8%減）となりました。

## 「食肉等の小売業」

当第2四半期連結累計期間の開店は2店、閉店は5店であり、(株)マルチョウ神戸屋の12店を加えた結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は150店になりました。内訳は食肉小売店137店（前期末比9店増加）、惣菜小売店13店（同増減なし）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、新型コロナウイルス感染症対策での外出自粛等により家庭需要はあるものの、前年同期では緊急事態宣言の期間も異なり、売上高は118億43百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は7億55百万円（同21.4%減）となりました。尚、本事業を管轄する子会社(株)オーエムツーミートの当第2四半期連結累計期間は2021年2月1日～2021年7月31日となっております。また、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた(株)マルチョウ神戸屋は、2021年2月1日～2021年4月30日の損益計算書を当第2四半期連結会計期間より連結しております。

## 「外食業」

当第2四半期連結累計期間の開閉店はなく、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は41店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、新型コロナウイルス問題の影響を強く受けたこと等から、売上高は21億82百万円（前年同期比14.2%減）、営業損失は2億2百万円（前年同期は営業損失は1億71百万円）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第2四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーダイニング(ステーキレストラン事業) 2020年12月1日～2021年5月31日

(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業) 2021年1月1日～2021年6月30日

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	116億40百万円（前期末比△3.8%）
固定資産	64億76百万円（同+13.7%）
総資産	181億16百万円（同+1.8%）
流動負債	33億89百万円（同△2.1%）
固定負債	7億59百万円（同+47.0%）
純資産	139億67百万円（同+1.1%）
負債・純資産合計	181億16百万円（同+1.8%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月12日の決算短信で公表致しました2022年1月期連結業績予想の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらす連結業績に与える影響が小売事業と外食事業に相反する影響を与えていることなどから、現時点において合理的に算定することが困難であるため変更しておりません。今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,073,271	8,743,705
受取手形及び売掛金	298,228	207,482
テナント未収入金	1,683,752	1,474,260
商品及び製品	481,650	720,968
原材料及び貯蔵品	33,543	30,553
未収入金	253,159	293,709
その他	275,755	170,573
貸倒引当金	△645	△962
流動資産合計	12,098,716	11,640,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,514,198	3,899,003
減価償却累計額	△1,961,071	△2,282,326
建物及び構築物(純額)	1,553,127	1,616,676
機械装置及び運搬具	426,050	539,159
減価償却累計額	△291,462	△373,803
機械装置及び運搬具(純額)	134,587	165,356
土地	527,407	582,212
その他	1,936,100	2,086,345
減価償却累計額	△1,525,136	△1,663,711
その他(純額)	410,963	422,634
減損損失累計額	△688,124	△680,770
有形固定資産合計	1,937,961	2,106,109
無形固定資産		
のれん	—	291,852
その他	106,970	102,995
無形固定資産合計	106,970	394,847
投資その他の資産		
投資有価証券	2,268,251	2,359,658
長期貸付金	45,647	41,821
退職給付に係る資産	118,358	130,550
繰延税金資産	211,981	145,697
敷金及び保証金	978,029	1,017,346
保険積立金	—	253,097
その他	40,579	39,426
貸倒引当金	△12,532	△12,532
投資その他の資産合計	3,650,316	3,975,066
固定資産合計	5,695,249	6,476,022
資産合計	17,793,965	18,116,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,590,134	1,839,182
1年内返済予定の長期借入金	30,380	76,400
未払金	537,472	603,150
未払法人税等	581,436	146,784
賞与引当金	68,867	118,878
その他	653,062	604,840
流動負債合計	3,461,353	3,389,235
固定負債		
長期借入金	69,620	276,014
退職給付に係る負債	35,799	58,413
役員退職慰労引当金	68,435	70,276
資産除去債務	253,818	260,796
その他	89,415	94,455
固定負債合計	517,089	759,957
負債合計	3,978,442	4,149,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	12,407,307	12,536,231
自己株式	△597,619	△597,619
株主資本合計	13,668,387	13,797,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,284	141,925
退職給付に係る調整累計額	9,851	27,884
その他の包括利益累計額合計	147,135	169,809
純資産合計	13,815,523	13,967,121
負債純資産合計	17,793,965	18,116,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	14,364,440	13,989,769
売上原価	8,791,274	8,756,525
売上総利益	5,573,165	5,233,244
販売費及び一般管理費	4,958,668	4,798,534
営業利益	614,497	434,709
営業外収益		
受取利息	425	376
受取配当金	1,046	1,398
持分法による投資利益	111,010	58,549
家賃収入	2,046	2,155
協賛金収入	33,009	18,769
受取手数料	459	459
その他	17,726	5,400
営業外収益合計	165,722	87,108
営業外費用		
支払利息	46	118
不動産賃貸原価	161	125
その他	375	848
営業外費用合計	583	1,092
経常利益	779,636	520,724
特別利益		
受取補償金	3,220	1,381
補助金収入	466	270,498
店舗売却益	10,000	—
特別利益合計	13,686	271,879
特別損失		
有形固定資産売却損	—	69
有形固定資産除却損	4,646	218
減損損失	43,847	19,939
店舗閉鎖損失	10,299	615
店舗休止等損失	216,653	216,678
特別損失合計	275,447	237,521
税金等調整前四半期純利益	517,875	555,083
法人税、住民税及び事業税	352,524	172,357
法人税等調整額	△187,806	92,276
法人税等合計	164,718	264,634
四半期純利益	353,157	290,448
親会社株主に帰属する四半期純利益	353,157	290,448



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	353,157	290,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,001	13,545
退職給付に係る調整額	△1,050	△562
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,710	9,691
その他の包括利益合計	△13,762	22,674
四半期包括利益	339,394	313,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339,394	313,123

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	517,875	555,083
減価償却費	205,676	192,836
減損損失	43,847	19,939
のれん償却額	—	15,360
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△920	△413
受取利息及び受取配当金	△1,471	△1,775
支払利息	46	118
持分法による投資損益(△は益)	△111,010	△58,549
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,045	△13,052
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,064	△92
賞与引当金の増減額(△は減少)	141,782	41,639
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,841	1,841
有形固定資産除却損	4,646	218
有形固定資産売却損益(△は益)	—	69
受取補償金	△3,220	△1,381
補助金収入	△466	△270,498
店舗売却益	△10,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	331,210	384,208
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,087	△192,431
仕入債務の増減額(△は減少)	41,962	154,074
その他	△84,780	△260,613
小計	1,066,951	566,584
利息及び配当金の受取額	1,471	1,775
利息の支払額	△46	△118
法人税等の支払額	△175,779	△608,167
法人税等の還付額	—	82,040
補償金の受取額	3,220	1,381
補助金の受取額	466	193,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	896,283	237,304
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△93,316	△178,623
有形固定資産の売却による収入	39,396	4,750
無形固定資産の取得による支出	△8,281	—
投資有価証券の取得による支出	△472	△720
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△513,095
短期貸付けによる支出	△1,280	△180
長期貸付金の回収による収入	5,346	5,406
資産除去債務の履行による支出	△25,532	△3,695
敷金及び保証金の差入による支出	△8,189	△11,859
敷金及び保証金の回収による収入	47,003	17,800
その他	△3,746	△11,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,072	△691,907
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	—	△11,248
自己株式の取得による支出	△17,955	—
配当金の支払額	△161,618	△161,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,574	27,500
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	767,636	△427,102
現金及び現金同等物の期首残高	7,912,999	8,773,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,680,635	8,346,168

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,845,099	2,519,341	14,364,440	—	14,364,440
セグメント間の内部売上高又は 振替高	54,414	26,061	80,475	△80,475	—
計	11,899,513	2,545,402	14,444,915	△80,475	14,364,440
セグメント利益又は損失(△)	961,750	△171,640	790,110	△175,613	614,497

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△175,613千円は、セグメント間取引消去△51,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,899千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが断続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」25,235千円、「外食業」18,612千円です。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年2月1日 至2021年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,840,617	2,149,151	13,989,769	—	13,989,769
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,700	33,670	36,370	△36,370	—
計	11,843,317	2,182,822	14,026,140	△36,370	13,989,769
セグメント利益又は損失(△)	755,983	△202,104	553,879	△119,170	434,709

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△119,170千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが断続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」9,099千円、「外食業」10,839千円です。